

自然と、あなたと、ともに未来へ。



2023年11月20日

株式会社レノバ

「杜の都バイオマス発電所（仙台蒲生バイオマス）」 営業運転開始に関するお知らせ

株式会社レノバ（東京都中央区、代表取締役社長 CEO 木南陽介、以下「当社」）が出資する杜の都バイオマス発電所（宮城県仙台市・設備容量 75.0MW）が 2023 年 11 月 18 日付で営業運転を開始しましたので、お知らせいたします。

木質ペレットとパーム椰子殻（PKS）を燃料とした出力 75.0MW の本発電所は、当社、ユナイテッド計画株式会社（秋田県秋田市、代表取締役 CEO 平野久貴）、住友林業株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 光吉敏郎）、みずほリース株式会社（東京都港区、代表取締役社長 中村昭）、RenoDa パートナーズ*1 が共同出資した、合同会社杜の都バイオマスエナジー（以下「合同会社」）にて、これまで準備を進めてまいりました。

同発電所が立地する蒲生北部地区は、かつて約 3,000 人の住人が暮らしていましたが、東日本大震災の津波により約 1,500 戸あった家屋のうち約 8 割が流失・全壊し、多くの方が犠牲となりました。その後、仙台市震災復興計画に基づき、災害危険区域に指定され、蒲生北部被災市街地復興土地区画整理事業によって、仙台港に隣接する一大産業拠点として生まれ変わっております。

合同会社は、この地でバイオマス発電所を建設するにあたり、地域の方々による「ふるさとが発展し、地域経済活性化の一端になれば」という想いを大切にしながら事業を進めてまいりました。その一環として、発電所内には、震災前の地域の様子を伝える「蒲生なかの郷愁館」*3 という展示ルームを設置予定です。

今後も地域の皆さまや関係各所のご協力をいただきながら、地域社会との共生と安全を最優先として発電所を運営し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



（杜の都バイオマス発電所／2023年10月撮影）

【杜の都バイオマス発電所の概要】

事業主体	合同会社杜の都バイオマスエナジー
建設地	宮城県仙台市宮城野区蒲生4丁目1番地の1
発電容量	75.0 MW
想定年間送電量	約 55,330 万 kWh (一般家庭約 17 万世帯の年間使用電力量に相当)
売電単価	24 円/kWh
運転開始	2023 年 11 月 18 日 (土)
出資会社	株式会社レノバ (29.0%) *2、 ユナイテッド計画株式会社 (25.0%)、 住友林業株式会社 (15.0%)、 みずほリース株式会社 (17.0%) RenoDa パートナーズ合同会社 (14.0%) *1

*1 大和証券グループが関与する合同会社です。

*2 「合同会社杜の都バイオマスエナジーに係る持分譲渡に関する覚書」に基づき、杜の都バイオマス発電所の完成日以降に、一部の共同スポンサーが保有する特別目的会社出資持分 (計 31.0%) を当社が買い増す権利を有しています。

*3 2024 年 3 月に一般公開予定。

以上

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社レノバ 広報室

Email : press@renovainc.com